

(株)別処電線製造所

2020 年度 環境経営レポート

(対象期間： 2020 年6月1日 ~ 2021 年5月31日)



地球を守り 未来を創る

発行日：2021年6月8日

環境方針

(株)別処電線製造所は、特殊銅撚線（無酸素銅、スズメッキ銅、ニッケルメッキ銅）、丸編組線、平編組銅線の製造販売を通して、地球環境、地域社会との調和と共存を念頭に置き、弊社が行うすべての事業活動において、全社一丸となって継続的改善を行い、地球にやさしい会社創りを目指します

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます

① 二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

- ・ 電力（工場、事務所）
- ・ 自動車燃料（営業車、トラック）

② 廃棄物排出量の削減

③ 排水量の削減（水資源の保全）

- ・ 一般水道水

④ 事務用品等のグリーン購入の推進

⑤ 製品不良の削減

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

4. 環境方針を全従業員に周知します。

制定日： 2008年11月1日

改定日： 2020年2月25日

代表取締役社長 別處 了一

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

(株)別処電線製造所
代表取締役社長 別處 了一

(2) 所在地

本 社 大阪府茨木市蔵垣内1-2-10 ※
※2020年8月に集約移管

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	専務取締役	別處 了太郎	TEL	072-624-6001
担当者	環境事務局長	別處 達也	同上	

(4) 事業内容

特殊銅撚線、編組線の製造および販売
主要製品：無酸素軟銅撚線、無酸素軟銅丸編組線、スズメッキ軟銅撚線、平編組銅線

(5) 事業の規模

製品出荷額	12.4 億円
主要製品生産量	720 トン

	本社	合計
従業員	27	27
延べ床面積	2199	2199

(6) 事業年度 6月1日～5月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： (株)別処電線製造所

対象事業所： 本社
摂津工場

活動： 特殊銅撚線、編組線の製造および販売

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	149,485	145,742	121,072
廃棄物排出量	kg	1,586	1,552	1,939
一般廃棄物排出量	kg	506	702	676
産業廃棄物排出量	kg	1,080	850	1,263
総排水量	m ³	287	255	340

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.342 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

年 度		基準値 (基準年度)	2020年		2021年	2022年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 (本社工場)	kg-CO ₂ 基準年比	130,405 2018年	129,101 99%	108,674 83%	127,797 98%	126,493 97%
原単位の把握 (粗利益÷電気使用量)	千円/kwh 基準年比	0.96 2018年	0.79 95%	0.79 100%	1 91%	1 87%
自動車燃料	kg-CO ₂ 基準年比	18,709 2017年	17,961 96%	13,487 72%	17,774 95%	17,586 94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	149,114	147,062	122,161	145,571	144,080
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	702 2018年	681 97%	676 96%	681 97%	667 95%
廃プラの削減	kg 基準年比	850	825 97%	1,263 149%	825 97%	808 95%
水道水の削減	m ³ 基準年比	287 2018年	278 97%	340 118%	278 97%	273 95%
製品不良の削減	件 基準年度比	5 2018年	5 97%	12 240%	5 97%	5 95%

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況		取組結果とその評価、次年度の取組内容
	前年度	本年度	
電力による二酸化炭素削減（本社）			
数値目標	×	○	目標大幅達成 減産の影響もあるが、新工場移設に伴い高効率のエアコンに切り替えた部分が大いと考えられる。次年度はこのデータをベースに目標を設定する。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	○	
※工場内は冷房25℃暖房22℃			
・不要照明の消灯	△	○	
・ノー残業デーの実施	×	○	
・作業改善・業務改善の推進	△	△	
原単位の把握			
・目標値の設定	-	○	売上事態は減っているが、新工場移管に伴い高効率のエアコンに切替っていることもあり、前期よりも効率よく生産が出来ている事がわかる。次年度はこのデータをベースに目標を立てていきたい。
・原単位の把握	-	△	
自動車燃料による二酸化炭素削減			
数値目標	○	○	目標達成。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、納品・営業活動が減ったことが要因であると考えられる。まだまだこの状況が続いているので、次年度もこのデータをベースに目標を立てていきたい。
・アイドリングストップ	○	○	
・効率的なルートで配送	○	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	○	
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	○	新工場移管直前直後は廃棄量は増えたが、従業員の意識もあり目標達成。次年度はこのデータをベースに目標を立てていきたい。
・分別の徹底	△	△	
・紙コップ使用の削減	△	○	
・副資材の管理による無駄買いの防止	○	○	
・5S活動の推進（部門別活動計画書で運用）	△	△	
廃プラの削減			
数値目標	○	×	目標未達成。移管前後に不必要なリールなどを廃棄したことが要因。次年度はこのデータをベースに目標を立てていきたい。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	○	
・安全で丁寧な作業の励行	○	○	
水道水の削減			
数値目標	△	×	目標未達成。移管先本社工場にて緑化スペースがかなり広くなり、植物の為に散水量が増えたことが原因と考えられる。次年度はこのデータをベースに目標を立てていきたい。
・自動散水装置の取り付け	○	○	
・自動水栓取り付け	○	○	
製品不良の削減			
①作業前の点検、確認の徹底	○	×	目標未達成。減産時に社員教育に伴う多能工化を進めた際にボカミスが増えたものと思われる。次年度はこのデータをベースに目標を立てていきたい。
②定期的にスキルチェックを行う	○	×	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
自動車Nox・PM法	自動車
消防法（危険物）	シンナーの保管
フロン排出抑制法	業務用空調機
グリーン購入法	事務用品等
消防法	危険物の保管

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等は過去3年間（あるいはこれまで）ありませんでした。

□代表者による全体評価と見直しの結果

- ・環境目標について 未達成の項目については
今期をベースに削減に努める

□環境活動の紹介

新工場移管に伴う高効率の空調設備の導入



自動散水装置の取り付け



- ・今期の改善テーマ～仕損の低減
スペースの最適化による事故・ミスの低減